

事業報告書

1 支援団体名	次世代のためにがんばる会
2 事業名称	氷川ダム環境学習会
3 実施日時	平成29年10月29日(日)
4 実施場所	氷川ダム管理所
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>① 氷川ダム管理所に於いては、土石流の災害や、水難事故の対策を学ぶことを目的とした防災・救済の勉強会や水質検査・外来魚の現実問題・ダム湖に飛来する野鳥についての学習会や、ダム湖監査廊の見学や記念植樹などを行う事で、参加者の水環境や自然保護意識を高められた。</p> <p>② 氷川ダム管理所内でかき殻入替作業を大学生と共にに行った。(かき殻投与枠の掃除と清掃後のかき殻清掃作業):台風の中、大変な作業だった。 参加人数:50人(児童・保護者・大学生・教授・講師・会員・管理所職員)</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>生活排水や外来魚などが与える生態系への悪影響を環境出前授業で学んだことは、多くの親子参加者にダム湖周辺の自然保護についての認識を見直すきっかけを作った。ダム湖周辺の自然環境保全や、球磨川での水質環境などは、実際にダム湖や球磨川に入り込み、子供の頃に保護者と共に五感で感じる事が大事であり、次の世代へと繋ぐ活動になったことは確かであり、そのまた次の世代へ継承して行く青少年育成の活動にもなっているものとする。</p>
6 参加内訳	総人数 35名
	(1) 主催者参加 6名
	(2) 日本人参加((1)を除く) 29名
	(3) 外国人参加((1)を除く) 0名
7 今後の方針	<p>官にあたる氷川流域管轄の八代市・氷川町の行政、学にあたる熊本大学・崇城大学・熊本高専、民にあたる地域ボランティア団体が、共同でこの環境学習会を開催できる基礎を確立したので、今後は様々な地域住民が企画可能になったことは、今後地域の町興しにも繋がると期待する。</p>

氷川ダム監査廊見学



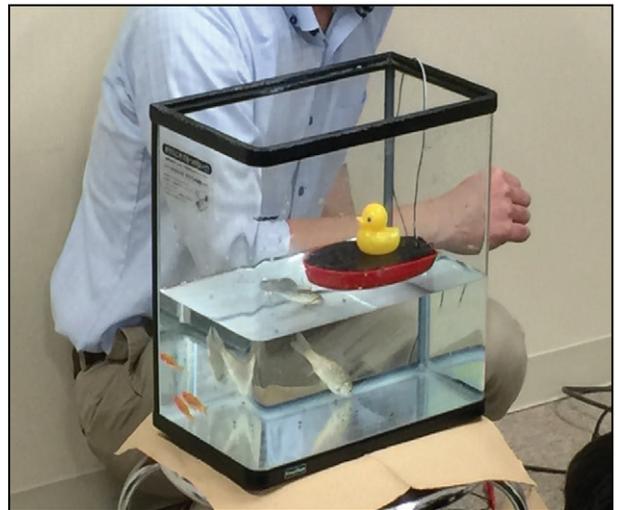
氷川ダム和小路公園 記念植樹



氷川ダムの水質検査 (COD・硝酸・リン)



外来魚の駆除実験 (Getter船の役割)



かき殻を使用した「水質実験」清掃



参加者の記念撮影

